

円山川・出石川でアユ産卵場造成実験を行いました

2日間で計124名のボランティアが参加!!

～豊岡河川国道事務所～

円山川水系ではアユの遡上数が減少傾向のため、大きな石や砂が堆積するなど、産卵に不適な状態になっている河床をじょれん等で耕して浮き石状態にして、産卵しやすい河床環境を創出する産卵場造成実験を毎年10月頃に行っています。

今年は昨年を引き続き、豊岡市主催の円山川本川での実験に参加し、出石川での実験を行いました。2日間で計124名のボランティアが集まって実験を行いました。

《概要》

日時：令和5年10月11日12日 13:30～15:30

場所：円山川 中郷遊水地（下池）前（円山川19.0km付近）

出石川 （8.3km付近）

参加者：124名（2日間合計）

豊岡市、円山川漁業協同組合、コミュニティなかつじ、豊岡市立コウノトリ文化館、兵庫県立大学、加陽地区づくり委員会、沖加陽区、日本コウノトリの会、コウノトリ市民レンジャー、但東野あそびくらぶいつなっと、日本ハンザキ研究所、復建調査設計、(株)川嶋建設、友田建設(株)、(株)西山工務店、(有)セイシン創建、(株)西吾建設、(株)徳網建設、(株)川見建設、(株)中川建材、(株)山口工務店、リバーフロント研究所、兵庫県但馬県民局、豊岡河川国道事務所

位置図



円山川本川

10月11日は円山川本川で3年連続となる産卵場の造成実験が豊岡市主催で行われ、豊岡河川国道事務所も参加しました。円山川本川での実験は人力作業だけでなく、重機も使用して産卵場を造成しました。また、河川環境をきれいにすべく周辺のゴミ拾いを実施しました。



川の規模が大きい円山川では、**重機**による産卵場造成を行った後人力での耕うん作業を実施しました。

出石川

10月12日は出石川で産卵場の造成実験を行いました。出石川での産卵場造成実験は5年前から実施しており、アユの産卵数は増加傾向にあります。また、実験と併行してアユの餌となる付着藻類の生長を阻害する外来植物オオカナダモの駆除を行いました。



出石川上流から下流へと人力による耕うん作業を実施するとともに、**外来植物オオカナダモ**を駆除しました。

参加者から頂いた意見・感想

- ・今後も継続して実験を行ってほしい。
- ・たくさんのボランティアが集まり、嬉しく思います。
- ・2日間の造成作業が良い結果になることを期待しています。

《産卵場造成のイメージ》



【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 流域治水課
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL0796-22-3126 (代表)

